

平成22年 秋の昆虫探し・森あそび報告

平成 22 年 10 月 8 日 NPO 法人 和光・緑と湧き水の会 代表理事 高橋絹世 048-462-9912

日 時 平成 22 年 10 月 3 日 (日) (午前 9 時 50 分～11 時 30 分) 参加者 50 名
主催 総合児童センター (3 名) 共催 NPO 法人和光・緑と湧き水の会 (8 名)

初夏に引き続いて COP10 開催記念観察会として実施しました。当日は暑からず寒からずの観察会日和に恵まれて、子どもたちも広い樹林公園内を元気に走り回っていました。

3 班に分かれてリーダー・サブリーダーの案内のもと、多様な生き物たちの棲む森の自然を観察し、更に生き物同士のつながりを実感することができました。締めくくりは、班ごとに大きな紙いっぱいに「生物多様性の樹」を制作して今日の観察会のまとめとしました。

その様子を画像でお知らせします。



花時計前広場に集合



班別リーダーの紹介



イモムシ発見



マンサクの枝にドロバチの巣



図鑑で調べる



フユノハナワラビ



セミのぬけがらで雌雄判別



豆ファールたち



ゲットした虫をかごに入れる



樹木名札を付ける



トカゲ



産卵直前のオオカマキリ



生物多様性の樹 第1班



第2班



第3班



これからもずっと自然に親しみましょう！

10年前から樹林公園の一面で森づくりを行い、ドングリからクヌギ、コナラを育て、ようやくドングリのなる樹に成長しました。その間、周囲と共生した森づくりを行ってきました。今では昆虫たちが棲みやすい、生物多様性の森が出来てきました。2010年10月に、名古屋で、生物多様性国際会議・cop10が開催され、その記念観察会として、子供も大人も身近な生物の多様性を体感しました。来年も生き物に出会えるように、昆虫たちを森に返し、森と生き物のつながりの大切さを実感しました。